



平成 30 年 9 月 28 日

各 位

会 社 名 富士急行株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 堀内 光一郎
コ ー ド 番 号 9010 (東証第一部)
問 合 せ 先 責 任 者 取締役執行役員監査室長
兼経営管理部担当 小俣 賢治
T E L (0555) 22-7120

特別損失（投資有価証券評価損）の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 31 年 3 月期第 2 四半期において、特別損失（投資有価証券評価損）を計上する必要が生じたので、お知らせいたします。また、これにより、平成 30 年 5 月 9 日に公表した第 2 四半期（累計）の連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失（投資有価証券評価損）の計上について

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、平成 31 年 3 月期第 2 四半期において減損処理による投資有価証券評価損を特別損失として計上する必要が生じました。

なお、四半期末における投資有価証券の減損処理につきましては、洗替え方式を採用しているため、平成 31 年 3 月期の期中または期末の時価により特別損失計上額が変動する場合、もしくは計上しない場合があります。

(1) 平成31年3月期第2四半期における投資有価証券評価損

	連 結	個 別
平成 31 年 3 月期第 2 四半期会計期間 (平成 30 年 7 月 1 日から平成 30 年 9 月 30 日まで) の投資有価証券評価損の総額 (= A - B)	1,406 百万円	1,406 百万円
(A) 平成 31 年 3 月期第 2 四半期累計期間 (平成 30 年 4 月 1 日から平成 30 年 9 月 30 日まで) の投資有価証券評価損の総額	1,406 百万円	1,406 百万円
(B) 直前四半期 (平成 31 年 3 月期第 1 四半期) 累計期間 (平成 30 年 4 月 1 日から平成 30 年 6 月 30 日まで) の投資有価証券評価損の総額	－百万円	－百万円

※ 四半期における有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しております。

※ 当社の決算期末は、3 月 31 日です。

(2) 銘柄

スルガ銀行株式会社

※取引関係の開拓・維持・強化のため長期にわたり保有している当該株式については、平成 13 年 3 月期に退職給付会計導入に伴う積立不足額を解消し将来の退職給付に備えるため、保有する株式を抛出して退職給付信託を設定いたしました。その後退職給付債務に対して退職給付信託財産が大幅な積立超過の状況となりその状態が継続することが見込まれたため、平成 28 年 3 月期に退職給付信託の一部を解約し時価により返還を受けたものです。

2. 業績予想の修正について

(1) 修正内容

平成 31 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	29,500	4,560	4,350	2,700	50.87
今回修正予想 (B)	29,500	4,560	4,350	1,840	34.65
増減額 (B-A)	—	—	—	△860	
増減率 (%)	—	—	—	△31.9	
(参考)前期第 2 四半期実績 (平成 30 年 3 月期第 2 四半期)	28,514	4,304	4,107	2,606	49.11

(2) 修正の理由

平成 31 年 3 月期第 2 四半期において、投資有価証券評価損の特別損失計上を踏まえ、第 2 四半期(累計)の連結業績予想数値を修正いたします。

平成 31 年 3 月期通期の業績予想(連結)につきましては、業績予想の修正が必要と判断される場合には改めて適時開示を行います。

(注)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上